

令和2年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	3	議席 番号	16	氏名	遠藤英明 議員	1 / 1					
発言項目				要 旨		答弁者					
1	統一的な基準による 地方公会計の整備促進 について			<p>(1) 富士宮市の財務諸表は総務省方式改訂モデルを採用してきたが、統一的な基準による地方公会計に移行した背景とその効果について伺う。</p> <p>(2) 財務書類を議会における予算・決算審議での活用を図るべきだと思うがどのように考えるか。</p> <p>(3) 新公会計制度導入の効果として、現行の現金主義を補完し、さらに資産・債務改革があるが、この効果をどのように生かす所存なのか伺う。</p> <p>(4) 新公会計制度における発生主義は既に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の中の将来負担比率に取り入れられている。将来負担、PFI事業等将来の動向について伺う。</p> <p>(5) 新公会計制度活用の効用として、資産老朽化比率の公共施設等マネジメントへの活用及び未収債権の徴収体制の強化が挙げられるがどのような方策をもって臨むのか。</p>		市 長 関係部長					
2							県道158号大坂富 士宮線、市道大塚弓沢 線交差点（通称よろづ や交差点）について			<p>(1) 市内で最も危険な交差点と言われている、通称「よろづや交差点」改良工事計画のその後の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 昨年12月に地元説明会が行われたが、どのような説明がなされたのか詳細を伺う。</p> <p>(3) 上記を踏まえて今後どのような計画推進を図るのか、伺う。</p>	